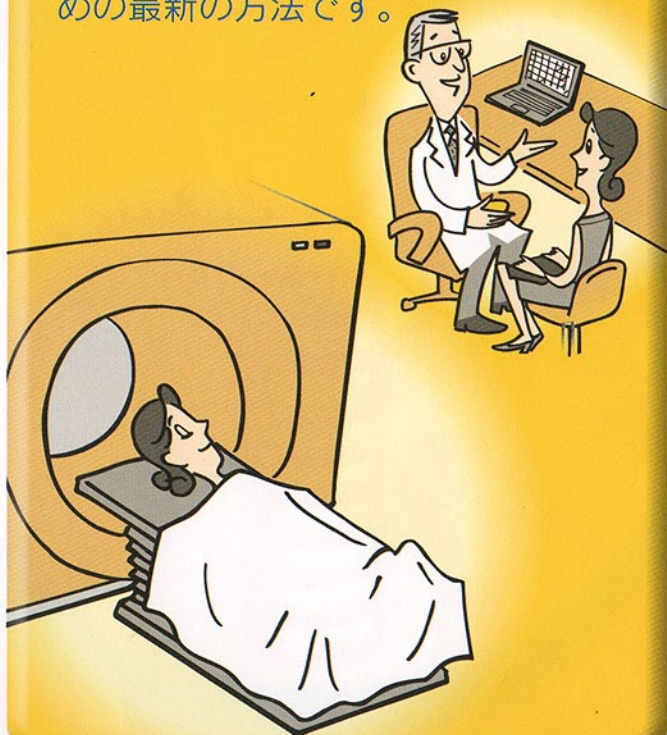


インプラント治療をお考えの方へ。

インプラント(人工歯根)治療を適切に行うためには、あごの骨の状態を詳しく調べることが重要です。

そこで、治療前に病院で**CT撮影**を行うようお願いしています。

病院でCT撮影を行い、当院で、最先端のコンピュータシステム(SimPlant)を使用して、あごの骨の状態を見ながら治療計画を立てます。これが、より安全で無理のない治療を進めるための最新の方法です。

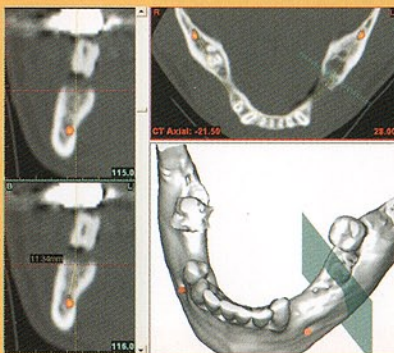


なぜCT撮影が必要なのでしょう？

歯医者さんでよく行うX線撮影は、歯の様子を見たり虫歯の治療をするのにはとても役に立ちます。一方、インプラント治療においては、あごの骨の硬さや形を調べるのが重要になります。あごの骨の状態は、骨の硬さや形、神経の位置など一人一人異なります。CTで撮影した画像からは、あごの骨の形や硬さがわかるだけでなく、あごの病気や神経の位置なども調べることができます。

CTで撮影した画像は、どう使われるのですか？

CTで撮影した画像は、最先端のコンピュータシステム(SimPlant)に取り込まれ、コンピュータの画面上であごの骨の状態を見ることができます。



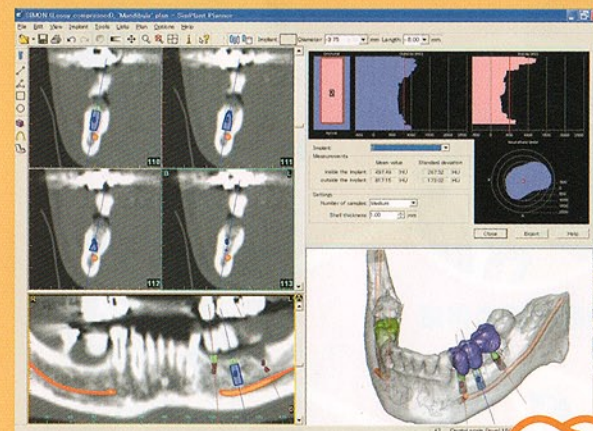
この画像は、骨の状態をどこでも見たい位置で見ることができ、歯医者さんはこの画像を使って手術の前に計画を立てます。

CT撮影をするには、どうしたらいいのですか？

提携している近くの病院に、歯医者さんから予約を入れてもらい、病院に撮影に行きます。

CT撮影時間は数10秒ですが、全体の時間は、撮影した画像データの作成時間を入れて約30分~1時間とお考えください。

撮影の前に、お食事をなさっても構いません。



この画面を見ながら、歯医者さんが治療方法をわかりやすくご説明いたします。

